

ファンドマネージャーの眼

ファンドマネージャー独自の視点で市況を分析



『先人たちの知恵を借りよう』

2017年4月7日

グローバル・エクイティ運用部

人類の歴史上において、数多くの偉大な哲学者たちが名を残している。彼らが提唱した独自の考え方とアプローチは時を越えた現代社会でも活用できるものであり、日常生活や仕事でさまざまな難問に直面している私たちにとって貴重な財産となっている。もちろん、マーケット・銘柄分析やポートフォリオの構築・管理など資産運用の分野においても、先人たちの知恵を借りる場合がたくさんある。今回は、筆者がよく活用する「オッカムの剃刀」および「帰納」二つの考え方について紹介したい。

<オッカムの剃刀>

「彼女に何度もデートを提案しても断れた。確かに、提案の内容が好みではないかもしれないし、最近仕事が忙しくて疲れているかもしれない。しかし、それらより一番単純でわかりやすい説明がある。彼女が私のことをきくと好きではないのだ。」

14世紀の哲学者のオッカムが多用したことで有名となった「オッカムの剃刀」とは、ある現象を説明するためには、必要以上に多くを仮定するべきでないとの考え方である。ある現象の解釈を求めるとき、多様な可能性にこだわりすぎると、かえって本質を見えなくするリスクがある。その場合は、「オッカムの剃刀」の考え方に従って複雑で可能性が小さい仮説を切り落とし、もっとも単純でわかりやすい仮説から検証を行えば、無駄な時間とエネルギーを減らし解明作業を効率的に進めることができると思われる。

ただし、注意しなければならないのは「オッカムの剃刀」が物事の本質を解明するものではなく、あくまで解明するためのツールであること。単純明解な仮説が必ず真実とは限らないため、検証せずに安易に結論をつけると、真相から遠のいてしまうことになる。一方で、たとえ複雑で難解な仮説でもより説明力を持つのであれば、単純性やわかりやすさを追求するために棄却すべきではない。マーケットや、投資資産の変動要因を究明する際に、「オッカムの剃刀」が非常に使いやすいツールであるものの、活用するときにはこの点を常に心掛けたい。

<帰納>

帰納とは、存在する個別な事例から、一般的な規則や法則を推論し、まとめようとする論理的推論のことである。真の規則・法則が自明でない状況での使い勝手の良さや、新しい事例・情報が現れる都度に修正しやすいという柔軟性がこのツールの魅力であり、人々に愛用されている。「米国が追加利上げペースを速める場合、マーケットはどのように反応するのか」、「製造業の伸び率が減速しており、銀行の不良債権比率が高まっている

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

る中国は経済がハードランディングする可能性があるのか」。このような複雑で不確実性が高い問題の答えを探る場合、帰納が間違いなく重要な手掛りとなっている。

ほかのツールと同様に、帰納をより正しく用いるために、この方法論の短所や限界を理解しておく必要がある。昔から様々な哲学者が指摘したように、帰納の一番の問題点は事例から導いた結論があくまで推論であり、厳密な意味でその真偽を証明することが非常に困難なことである。揺るぎようがない自然の法則以外、今まで守られた規則が将来も守られる保証はない。また、たくさんの事例から得られて妥当なようにみられる推論が必ずしも正しいとは限らない。次の有名な例を考えてみよう。朝に目を覚まし自分が生きていることを確認できたことを一つの事例と置く。そうすると年を取るとともに観察できた同じ事例の数が増えることから、帰納を用いると「年を取ると死亡する可能性が少なくなる」という歪な推論を得ることになる。

問題点が存在するとはいえ、ルールが確立されていない物事の先行きを予測するのに、帰納が重要な方法論であることに変わりはない。副作用を抑え、より正確な推論を求めるには、単にまとめるではなく、広い視野かつ適切な観察指針の元で行うことが非常に大切となる。前例の場合であれば、朝に目を覚ます時に自分が生きていることを観察すると同時に、異なる年齢層の人が眠っているうちに亡くなる事例を観察すれば、歪な推論を避けることができるだろう。

「オッカムの剃刀」、「帰納」のほかにも、「ヒュームの熊手」や「還元主義」など、数多くの立派な考え方とアプローチが残されている。資産運用分野に限らず、様々な分野・場面で生かす機会があるので、先人たちの知恵を理解することで、良い成果を挙げられるようにぜひ活用したい。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。